

【研究主題】

「遊び」を生かして主権者を育てる社会科・公民科を中心とした小中高連携カリキュラムの開発

【開発するプログラムの概要】

「意思決定」に関わる資質や能力を軸として、社会科・公民科を中心に、算数科・数学科、体育科・保健体育科の3教科で「知・情・意」を意識した連携を図り、「遊び」を活用しながら「合意形成」をテーマにカリキュラム・マネジメントを通じた小中高を一貫する主権者教育の一つの学習プログラムを開発する。

実践内容 ※開発するプログラムから一部抜粋

<小学校・6年生> 社会科

【単元名】 国民としての権利（選挙）（(1)ア(7)(1)）

【主な単元の目標】

- 選挙は国民の代表者を選出する大切な仕組みであること、及び、選挙権など政治に参加する権利が国民に保障されていることを理解できるようにする。
- 資料やインタビュー活動を通して視覚障害をもつ人が選挙に行く際の困難さを知り、選挙権が保障されるための課題が何なのか、そのために国や地方公共団体にはどんな対応が求められるのか考え、表現する。
- 自分の周りの人々の置かれている状況に目を向けるために、新聞記事やニュース映像等を活用して社会の出来事を調べ、社会が抱えている課題を見つける。

【学習問題】政治に参加する権利の一つである選挙権が、等しく国民に保障されるために、国や地方公共団体には何が求められるだろう。

【実践例】 ※自己実現活動「より良い社会を目指して」 第4・5/6時

授業の概要

<概要>

- ①ゲストティーチャーの紹介
- ②学習前のアンケート結果や質問項目を振り返り、障害に対するクラスの考えの傾向を捉える。
- ③ゲストティーチャーへ質問をする。
- ④点字器を使って模擬投票をしたり、PCを使いこなして他者とコミュニケーションをとる様子を見る。
- ⑤事前に社会科の授業で学習した国民としての権利である選挙権についてや、ゲストティーチャーへのインタビューを通して、より良い社会を創るために自分や社会ができることについて、「共生社会」という言葉を意識しながら考えをノートに書く。
- ⑥本時の振り返りを行う。

<指導上の工夫>

○地域や社会生活における具体的な課題等を自分との関わりの中で捉えられるようにするための指導上の工夫

- ・ 児童が考える障害者像を捉え直すために、ゲストティーチャーに点字の実演や生活の中で行っている工夫を聞く機会を設けたこと。
- ・ 「自分だったら？」と授業者が児童へ問いかけ続けることで、学習問題を常に意識して考えるようにしたこと。

○小中高を一貫する学習プログラムに資する工夫

- ・ 自分たちが考えた解決策を視覚障害当事者に投げかけ、その反応をもとに再度考えを吟味した。合意形成を複数回行えるようにすることで、合意形成の深化を目指したこと。

○社会科と他教科等との連携

自己実現活動

- ・ 視覚障害当事者
- ・ 文京区選挙管理委員会



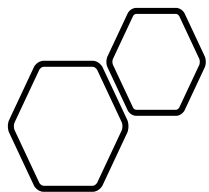
専門家や関係諸機関等との連携・協働

効果等

- ◆ ゲストティーチャーとの交流を通して、児童は障害をもつ人々に関心を寄せ、社会インフラなどが自分たち以外の人たちにも使いやすいものになっているかどうか、「共生社会」実現のために自分や社会ができることは何かを考えることができた。
- ◆ 交流後もゲストティーチャーとのやり取りを継続させ、児童の質問や考えに対してアドバイスを受けたことで、児童は考えを見直したり、深めたりすることができた。

時間	主な学習内容	
	社会科	関連付けた他教科等
1/2	<ul style="list-style-type: none"> 日本における選挙制度と模擬投票 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 障害をもつ人々が選挙に行く困難さに触れ、選挙の課題がどこにあるのか考える。 	自己実現活動「よりよい社会を目指して」 ・視覚障害者に対する質問をまとめ、インタビュー活動の準備をする。
4-6	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害当事者の話や新聞記事・ニュース等で調べた情報を基に、障害の有無に関係なく選挙権が保障されるために、国や地方公共団体にはどのような働きが期待されるのか、考え、まとめる。 	自己実現活動「よりよい社会を目指して」 ・ゲストティーチャー（視覚障害者）を迎え、インタビュー活動等を行う。 ・自分たちがより良い社会を実現するためにできることを考え、ゲストティーチャーに発表する。 ・ゲストティーチャーからの返信を受けて改めて自分たちや社会ができることを考え、まとめる。

※ 単元名の（ ）内は学習指導要領の内容の該当番号
 ※ 「自己実現活動」は、教育課程特例校認定によって設置された教科横断的な学びを行う教科である。



実践の様子

附属竹早小学校

